

# 西海ブロック水産業情報

NO. 68 (平成22年1月～3月)

## その他(水産利用加工、水産経済関係、災害等)

山口県	福岡県	佐賀県	長崎県	熊本県
<p>(貝毒) 仙崎湾において貝毒原因プランクトン(アレキサンドリウム属)が増殖し、国の規制値を超える貝毒が検出されたため平成22年1月13日、同湾における二枚貝の出荷・採捕自主規制を行った。平成22年3月8日以降の検査において、連続3週、国の規制値を下回り安全性が確認されたので平成22年3月23日付けで規制を解除した。</p> <p>(水産加工) ●マアナゴ、メダイの成分分析 ●サゴシの加工残渣からのエキス抽出試験 ●板ノリを使った加工品開発</p>	<p>●豊前海一粒かきの各種イベント・キャンペーンを実施。</p>	<p>●養殖アワビの販売が不振。センター、栽培協会、漁協、漁業者で販売促進の具体策を検討中。 ●フグはえ縄、イカ釣り等を対象に、漁場選定に役立つ、広域で詳細な水温情報を提供中。 ●漁業種類別に漁業者と当センターの意見交換会を開催。【水産資源関係】 ●タイラギ調査、漁獲物動向調査(市場調査)を実施。【水産海洋・漁場保全関係】 ●浅海定線調査、漁場環境モニタリング調査(底質、マクロベントス)、サルボウ適正生息環境調査(水質)、貝毒分析(サルボウ) ●タイラギ潜水器漁業は、12月13日に解禁、西部海域において漁獲されている。1日1隻当たりの漁獲量(貝柱)は、30～40kg。3月末までの推定漁獲量(貝柱)は、約91トン。</p>	<p>●研究技術開発 1. 水産物流通加工強化支援事業 2. 水産加工原料確保のための新原料開発 3. 連携プロジェクト イカ肉の高度有効利用に関する研究 4. 戦略プロジェクト 県産冷凍すり身の新たな製法とその利用法の開発 5. 魚介類の出荷前蓄養と環境馴致による高品質化システム技術開発 6. 血合肉褐変防止技術を基盤とする国際競争力の推進と海外市場展開 7. 地域イノベーション創出研究開発事業「新規海水浄化装置を用いた活イカ輸送システムの開発」</p>	<p>●麻痺性貝毒が天草市で1月に発生したが、3月に規制値以下となり、出荷自主規制の要請を解除した。</p>

鹿児島県	宮崎県	大分県	沖縄県
<p>●通電加熱装置を用いた水産食品の加熱及び殺菌技術の高度化研究において、シラスを用いてエキス流出が少ない旨み成分が多いシラス干し加工品の開発研究に取り組んだ。</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>特記事項なし</p>	<p>特記事項なし</p>